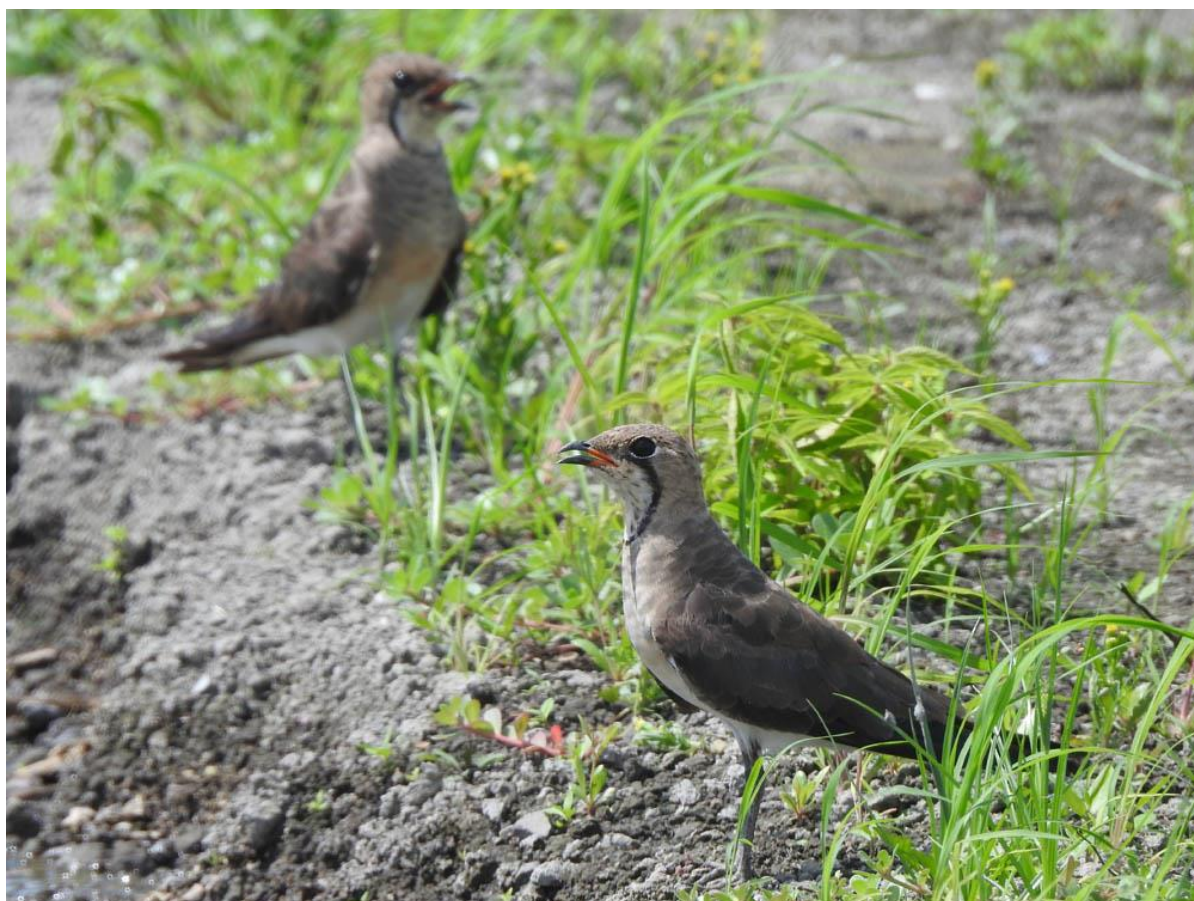




# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



暑さに耐えてる？ ツバメチドリ (百石町にて / 撮影：青柳 隆さん)

## 野鳥さが 242号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 佐賀県支部の保護活動-----3ページ
- 事務局便り-----4ページ
- 各地の探鳥会報告-----5ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----8ページ
- 皆さんからのおたより-----8ページ
- 近隣地区の探鳥会情報&有明海の満潮時刻-----10ページ
- 探鳥会会場までの案内-----11ページ
- 探鳥会などのお知らせ (2022年10月~11月) -----12ページ



## 役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】2022年8月7日&9月11日

【出席者】(8/7) 12名 (9/11) 12名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) コアジサシ営巣地保護活動(コアジサシみまもり隊)について

- ① 佐賀市の諸富浄水場跡地にコアジサシの営巣地を設け保護活動を行った。
- ② フェンスやデコイで営巣・繁殖の環境を整備し、会員が交代で見守りを続けた。
- ③ 25羽のコアジサシが巣立つことができた。コチドリも繁殖した。
- ④ 来年も営巣・繁殖を期待する。
- ⑤ シェルターの土管に番号をつけてはどうかと提案があった。

(2) コウノトリの営巣について

- ① 白石町の農地の電柱にコウノトリが巣をかけた。
- ② 会員が交代で見守りを続けた。
- ③ 2羽のヒナが孵化したものの、巣立ちには至らなかった。
- ④ その後も親鳥は滞在していた。(現在は白石町を離れたようです)
- ⑤ 次のシーズンにまた営巣、繁殖してくれることを期待したい。
- ⑥ 営巣に向けて助成金や、巣台製作など様々な協力が期待される。
- ⑦ 地元で「コウノトリを守る会」を結成する動きがある。

(3) ブッポウソウについて・・・富士町などでブッポウソウを対象に巣箱をかけた。  
今期の営巣は確認されていない。

(4) 佐賀市からの依頼事項について

- ① 佐賀市から市内の26カ所について野鳥調査を依頼されるだろう。
- ② 季節ごとに年4回の調査をする事となろう。

(5) 蓮田の防鳥網について・・・白石では蓮田の網が少なくなっている印象とのこと。

(6) その他、今後の探鳥会についてなどの協議を行った。

※次回役員会・・・10月9日の東よか干潟探鳥会終了後「ひがさす」で開催予定。  
役員以外の会員の参加も大歓迎です。







## 佐賀県支部の保護活動

(支部長:宮原 明幸)

本年、佐賀県支部は3つの保護活動に取り組みました。

### 1. ブッポウソウ

昨年よりの継続事業です。

佐賀市大和町の山間地で巣箱を設置しブッポウソウを誘致しています。昨年10月巣箱の掃除を実施し5月の渡来機に合わせて巣口を開放しました。

結果は、下記事業に手を取られ確認出来てませんが10月に確認予定です。

### 2. コアジサシ

支部報241号での案内の通り、佐賀市諸富町の水道局跡地でコアジサシ営巣地保護事業をしました。

活動は4月1日～7月21日の期間で実施し、**雛25羽**を巣立たせることが出来ました。活動に際しては、e-佐賀基金様より50万の助成・佐賀市上下水道局様よりの跡地無償貸与及び会員各位の協力が有りました。



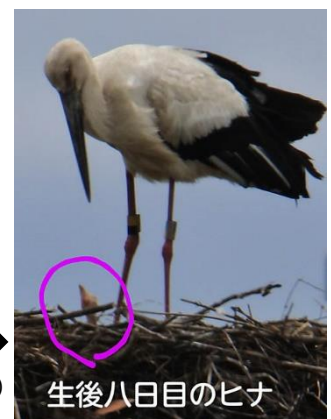
コアジサシ親子と活動に大活躍のデコイ、土管&レンガシェルター、侵入防止ネット  
(写真提供：八木ひとみさん、水田稔さん)

### 3. コウノトリ

5月連休に白石でコウノトリが電柱に営巣中の一報が当会会員よりありました。

報告を受け、会では九州電力へ巣の保全・白石町へは保護への理解をお願いし、保護活動を実施しました。

白石町と一緒にモニタリングと監視活動を実施、産卵・抱卵・孵化までは見守り出来たのですが、残念ながらカラスの捕食に遭い巣立ちには至りませんでした。



(写真提供：八木ひとみさん、水田稔さん)

(拡大)

生後八日目のヒナ



コアジサシ・コウノトリの見守りは、期間中1日も空けることなく交代で頑張ってきました。野鳥の会佐賀県支部会員として誇らしいことです。来年以降も同様の活動を継続致します、保護活動に興味のある方・時間の取れる方は、是非参加してみてください。



## 事務局便り

(事務局:青柳 良子)



### (1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 241 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

8月入会者 3名(家族会員1名) 9月入会者 2名(家族会員1名)

佐賀県支部の会員は現在249名です。

「新型コロナウイルス」はまだ安心できませんが、予定通りの観察会が開催できることになりました。充分気を付けながらバードウォッチングを楽しみましょう！

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されてない方もいらっしゃいます。是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通してどんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？

是非お誘いください。野鳥の会は「いつでも入会OK」です。

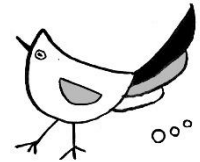
日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。





## 各地の探鳥会報告



### ■室内学習会報告

【日時】 2022年8月7日

【会場】 東よか干潟ビジターセンターひがさす レクチャールーム

【参加者】 会員 14名 講師：宮原明幸支部長 (報告：島田洋・青柳良子)

【演題】 鳥について・・・基本的なことを学ぼう！

宮原氏はいきなり「野鳥の会の会員の皆さんに失礼ですが『鳥ってどんな生き物ですか?』ときりだしました。突然問いかけられて「えっ?」と戸惑った方もたくさんいました。パワーポイントを使って次のようなことを話してくださいました。

鳥とは・・・

- ① クチバシがある。②羽毛が生えている。③かたい殻を持つ卵を産む。④軽くて強靱な骨格を持つ。⑤心臓は2心房2心室である。⑥体温は一定 恒温で40~42℃である。⑦哺乳類とは異なる独特な呼吸器系を有している。⑧二本足である。

などと列挙してから

「鳥についてごく初歩的・特徴的なことを考えてみましょう!」という学習会でした。

鳥の体の特徴は

- ① 飛ぶための胸筋が発達している。②軽い体。③骨も軽い。④腸が短い。素早く消化する。糞と尿が一緒(尿酸排泄型)⑤排泄物を体にためない。⑤重いあごや歯がない。軽いクチバシとなっている。

クチバシは

何を餌にするかで様々な形のクチバシが進化した。

(例えば 肉食系の猛禽類は餌を切り裂けるような形、ハチドリは蜜を吸いやすいような独自の構造)

羽毛は 正羽(板状になる羽) と 綿羽(板状にならない 体温保持に必要)がある。

翼や尾の正羽は飛翔に必要(風切羽など)

剛毛羽は眼の周囲や口角にある羽・・・感覚センサーや捕虫網などの働きを持つ。

羽の色は ディスプレイには目立つ色合い、カモフラージュには目立たない色の羽。

ほかにも

飛ぶ仕組み 飛び方 暮らし(留鳥・漂鳥・夏鳥・冬鳥・旅鳥) 食物連鎖 鳥類の呼吸器 鳥の発声 鳥類の視覚 嗅覚や味覚 渡りと換羽 恐竜から進化 などの話

またコアジサシの営巣地で目撃した「自分のでないヒナには餌をやらない」という事実! しかしカモ類はよそのヒナも引き連れている・・・など「鳥の世界」も千差万別あるようで知れば知るほど面白くなりました! 会員からの質問や発言も多く「鳥に想いを寄せた」いい時間でした。 紙面の都合上話し合ったことのほんの一部しか紹介できませんが「鳥談義」はこれからもたくさんしていきたいものです。

猛暑の中 講演して下さった宮原支部長に改めてお礼申し上げます。

## ■東よか干潟（大授搦）探鳥会報告（佐賀市）

①【日 時】 2022年8月28日

【参加者】会員18名 非会員5名 （案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】カワウ、ダイサギ、アオサギ、クロツラヘラサギ、マガモ、カルガモ、ミサゴ、トビ、ハジロコチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ムナグロ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、オジロトウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、ソリハシセイタカシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ツバメ、セッカ、スズメ、ハシブトガラス、ハシブトガラス（38種）

【案内役より】

5月以来の久しぶりの東よか干潟での観察会です。 県外からの8名を含む多くの人に参加しました。 まず、水際で採餌するクロツラヘラサギ、次にチュウシャクシギ、オバシギを観察していると、カラフトアオアシシギの情報が入り、西側に移動する。 昨日より飛来している本日の目標、絶滅危惧ⅠA類のカラフトアオアシシギを見る。 満潮となり干潟は水没し、鳥たちは飛び立つ。最後に流木に残ったキアシシギを見て終了する。

②【日 時】 2022年9月11日

【参加者】会員18名 （案内役：田中丸雅雄、加藤芳隆）

【観察された野鳥】ダイサギ、アオサギ、クロツラヘラサギ、マガモ、ミサゴ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、コアオアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ズグロカモメ、ハシブトガラス、キジバト、ツバメ（26種）

【案内役より】

朝から日射しが強く暑い。 シギ・チドリの渡りもピークとなり、堤防の上には多くの他県ナンバーの車が並ぶ。鳥たちの群は西に集まり、我々も西に向かう。 ダイゼン、アオアシシギを水際で見ていると、鳥たちは飛び立ち干潟は水没する。 堤防に上がり捨て石の上で休息するハマシギ、キリアイ、オオメダイチドリを見る。 中央通路にはオグロシギ、オオソリハシシギが留まる。 通王通路も水没して、探鳥会を終了する。

## ■ツバメのねぐら入り観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2022年9月4日

【参加者】会員5名 （案内役：永島 博）

【観察された野鳥】

【案内役より】

案内人含め5人での観察会となりました。 台風のせいでしょうか、参加者が





少なかったです。だけど、嬉しいことに福岡からの飛び入りの参加がありました。ありがたいです。18時20分、現地へ入ります。嵐の前の静けさというものでしょうか。比較的穏やかな天気です。雲は多いものの、晴れ間も見えます。ちらほらツバメが飛び交ってます。飛んでは消え飛んでは消えの繰り返しです。日没は18時41分。それから10分程経って、一気にやってきました。次から次へと飛んでいきます。しばらくは上空や芦原の上を飛び交います。後ろかすごい勢いでねぐらへ飛んでいきます。やがてねぐらへ入り、さっきの騒々しさは何だったのと思うくらい、姿が見えなくなります。ヨシの上には黒い影がたくさん。やがて静まり返りました。福岡の方も喜んでいただけて、良い観察会になりました。

---

### ■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

---

①【日 時】 2022年5月29日

【会 場】東よか干潟（佐賀市東与賀町）

【参加者】非会員15名（案内役：田中丸雅雄 他会員3名）

【観察された野鳥】オナガガモ、ホシハジロ、オオミズナギドリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、メダイチドリ、オグロシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、オバシギ、トウネン、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、トビ、ハシボソガラス、ヒバリ、オオヨシキリ（24種）

【案内役より】

非会員を対象とした観察会です。予想より多い15名の参加者がありました。シギ・チドリの渡りのシーズンも終わりましたが、当地を代表するクロツラヘラサギ、ダイシャクシギなどが見られました。最後に鳥合わせの最中に、目の前でトビがオオミズナギドリを襲う珍しいシーンを目撃しました。

---

②【日 時】 2022年9月11日

【会 場】大詫間・ツバメのねぐら入り観察会（佐賀市）

【参加者】非会員32名（うち子供2人）（案内役：永島博、宮原明幸、馬場清）

【案内役より】

大人30名、子供2名の参加となりました。久しぶりの賑わいです。県外からの参加者がかなり目立つようになりました。観察会が始まる直前、パラパラと雨が降りだしました。ちょっと雲がかかってじめじめした天気です。こういう時はだいたい乱舞がみられますので、期待できそうです。

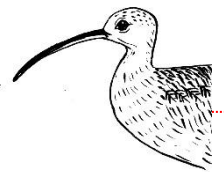
日没は18時31分。まだ、ツバメはいません。観察者もちょっと不安のようです。でも東側の田んぼのすぐ上をたくさんのツバメが飛んでいるのが見えます。それから数分後、やってきました。たくさんのツバメです。上空を数千のツバメ

が舞います。堤防をすごい勢いで横切っていきます。

「うわあー!」「きゃあー!」 あちらからもこちらからも歓声があがります。数千のツバメたちが次から次へと上空を舞っていきます。芦原の上にもたくさんのツバメたち。群れとなってこちらに向かって飛んできます。また歓声が上がります。「この中に私たちの家で育ったツバメもいるのでしょうか?」という問いかけもありました。いてくれれば良いですね。すごいロマンを感じました。18時55分。そして、ツバメたちはねぐらへと入っていきました。予感的中、たくさんのツバメが舞ってくれました。最高の観察会ではなかったでしょうか。



## 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



### ■加藤 芳隆さん(上峰町)

8月15日 【東よか干潟】シベリアオオハシシギ 幼鳥

8月27日 【東よか干潟】カラフトアオアシシギ 幼鳥



シベリアオオハシシギ



カラフトアオアシシギ

大授搦の珍鳥3種と言われている内の2種です。(あとの1種はヘラサギ)

### ■八木 ひとみさん(佐賀市)

7月23日 【雲仙あざみ谷】真夏なのにアザミ谷は別世界の涼しさです。水場ではキビタキ♀、♀、幼鳥、ミソサザイ幼鳥、オオルリなどが姿をみせてくれました。

7月31日 【佐賀空港付近】ツバメチドリ



キビタキ♀



オオルリ♂



ツバメチドリ



8月15日 【東よか干潟】 オオソリハシシギ、ダイゼン、チュウシャクシギ、ハマシギ、オオハシシギ

9月4日 【白石干拓地】 ツバメ、ショウドウツバメ、コアオアシシギ、クサシギ



オオソリハシシギ、ダイゼン



チュウシャクシギ



オオハシシギ（中央）  
ハマシギ（手前、奥）



ショウドウツバメ



コアオアシシギ



クサシギ



## 皆さんからのおたより

### ●「ツバメのねぐら入り」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

9月11日 用事を済ませ、日没直後に大詫間の対岸の漁港にツバメのねぐら入りを見に行きました。去年は佐賀方面からねぐら入りするツバメがたくさん見えました。しかし今日は飛んでいるツバメが1羽もいません。そんなはずはない！ 対岸の大詫間側の観察会の皆様の車が何台も見えました。橋を渡り、大詫間側へ移動しました。そこでツバメのねぐら入りの終盤をなんとか見ることができました。観察時間が短かったので断定できませんが、日没前に雨が降ったためか、ツバメは陸側の田んぼから低く波のように群れて押し寄せ、堤防を低く越え、上空でねぐらの場所を定めて芦原に入っているように見えました。後ろの車の人はドアを開けていたらツバメが入ってきそうだったってました。芦原のツバメは2年前のものですが同じように芦原に入っていました。

空を乱舞するツバメたちと芦原に入るツバメたち →



## ● 近隣地区の探鳥会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：10/2 (日) 11/6 (日)
- ・春日市春日公園：10/4 (火) 11/1 (火)
- ・福岡市大濠公園：10/8 (土) 11/12 (土)
- ・福岡市和白海岸：10/9 (日) 11/13 (日)
- ・筑紫野市天拝山：9/18 (日) 10/16 (日)
- ・福津市久末ダム：9/25 (日) 10/23 (日)

※上記の定例探鳥会以外に、月例探鳥会も実施されています。

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

※新型コロナウイルスのまん延のため、9月の探鳥会は会員限定です。(10月以降は不明)

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>  
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
10月7日	7:09	5.1	11月6日	7:36	5.3
10月8日	7:58	5.5	11月7日	8:19	5.5
10月9日	8:41	5.8	11月8日	8:59	5.6
10月10日	9:22	5.9	11月9日	9:37	5.5
10月11日	9:59	5.8	11月10日	10:12	5.4
10月12日	10:33	5.7	11月11日	10:45	5.3
10月13日	11:03	5.4	11月12日	11:15	5.0
10月14日	11:32	5.1	11月22日	7:53	5.2
10月23日	7:39	5.1	11月23日	8:40	5.4
10月24日	8:20	5.4	11月24日	9:27	5.6
10月25日	9:01	5.6	11月25日	10:13	5.6
10月26日	9:42	5.7	11月26日	10:59	5.5
10月27日	10:22	5.7	11月27日	11:43	5.3
10月28日	11:01	5.5	11月28日	12:29	5.0
10月29日	11:41	5.3			

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

#### ■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

#### ■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)







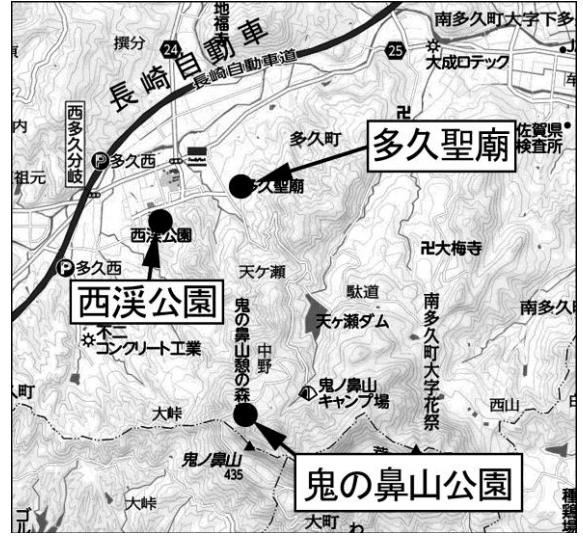
# 探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①10月9日⑤11月27日 佐賀市東よか干潟



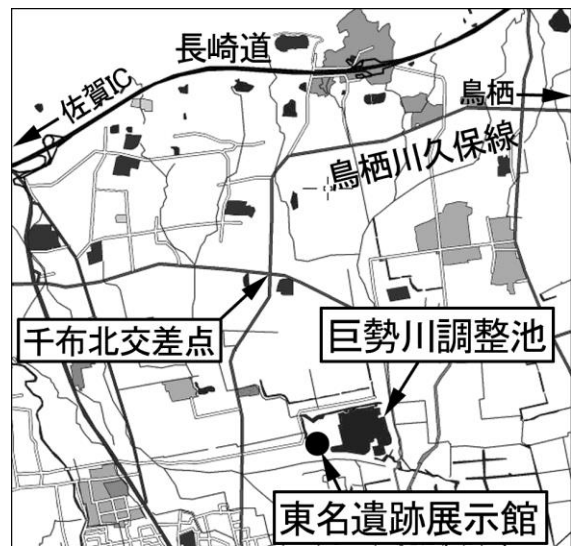
②10月23日 多久市・鬼の鼻山公園



③11月6日 佐賀市・県立林業試験場



④11月20日 佐賀市・巨勢川調整池



## ～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f\_baba841@ybb.ne.jp







## 探鳥会などのご案内

(2022年10月～11月)

### ①10月9日(日) ⑤11月27日(日) 東よか干潟(大授搦)探鳥会(佐賀市)

[集合] 10/9 9:00 11/27 10:00

東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

[見どころ] 10/9 は渡り終盤のシギ・チドリを観察します。11/27 はクロツラヘラサギ、ズグロカモメ、ツクシガモなど干潟で冬を過ごす鳥たちを観察します。

### ②10月23日(日) 鬼の鼻山憩いの森観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00

多久市の鬼の鼻山憩いの森駐車場

[担当]川原 直嗣さん(唐津市) 090-8673-9152

[見どころ] 山の公園周辺に生息する鳥たちを観察します。展望台のある山頂までは歩いて15分程度、360°の展望です。ウォーキング&低山の鳥たちを楽しみましょう。

### ③11月6日(日) 林業試験場観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市大和町の県林業試験場駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085

[見どころ] 林で越冬する「ツグミ」「キクイタダキ」を観察します。キクイタダキは日本最小の鳥の一つで、全長10cm、オリーブ緑色の、かわいい～鳥です。

(トイレは利用できません)

### ④11月20日(日) 巨勢川調整池観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00 佐賀市金立町の

東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場

[担当] 島田 洋さん(佐賀市) 090-2393-1286

[見どころ] 調整池で越冬する「カモ類」、それを狩る「猛禽類」を観察します。

探鳥会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡して下さい。



## 共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代)佐賀県支部会員100円 非会員は300円
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>